

国道 138 号拡幅に伴う周辺地域まちづくり検討委員会(第 3 回) 議事内容

日時：平成 26 年 11 月 19 日(水) 10:00～11:30
場所：富士吉田市役所 産業会館 3F (第 3 会議室)

■委員会出席者

慶應義塾大学環境情報学部 准教授	中島 直人 (委員長)
新屋連合自治会 連合自治会長	堀内 和男
上宿連合自治会 連合自治会長	渡辺 則明
中宿連合自治会 連合自治会長	渡邊 稔 (欠席)
下宿連合自治会 連合自治会長	藤本 建治
中曽根連合自治会 連合自治会長	渡辺 修
富士吉田商工会議所 専務理事	佐藤 文彦
富士急行株式会社 代表取締役社長	堀内 光一郎 (代理：梶原)
財団法人 ふじよしだ観光振興サービス 常務理事	滝口 明
富士吉田市企画部 部長	滝口 修
山梨県富士東部建設事務所吉田支所 支所長	高井 達也 (代理：深澤)
山梨県県土整備部道路整備課 課長	丹澤 彦一 (代理：中村)
山梨県知事政策局富士山保全推進課 課長	泉 智徳
国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所 事務所長	田中 克直

■議事内容

沿道まちづくり、新屋拡幅の調整状況についての意見交換

■意見集約

- ①中央分離帯の設置により地域コミュニティの分断にならないよう配慮した交差点計画及び市道計画について、今後関係機関と協議しながら検討を進めることด้วย承された。
- ②重点区間である浅間神社前の歩道幅員の考え方について、来訪者が多く歩く北側歩道の拡幅案を基本に検討を進めることด้วย承された。
- ③世界遺産の視点で、国道 138 号拡幅事業が着目されている状況であり、上吉田地域の歴史認識を踏まえて、世界遺産構成資産である富士浅間神社や、巡礼の道としての富士みち、胎内道、御師まち等へ配慮したまちづくりと連携していくことが重要であることを確認した。
- ④世界遺産関係については、山梨県の関係部局と調整を図る。
- ⑤来年度も、引き続き検討委員会を開催し、関係者と協議していく場とし、住民とのワークショップも必要に応じて開催していく。

